

表3 末梢性神経障害の対処法

<基本的注意事項>

ベルケイドの減量、休薬以外には臨床試験で効果が証明された予防法や治療法はありません。それぞれの患者さんでの対処法については担当医の先生とよくご相談ください。

ベルケイドの用量・投与回数の減量、投与一時中断
ベルケイド投与時における症状評価
末梢性神経障害の症状、徴候に対する患者教育
牛車腎気丸(ゴシャジンキガン)
ビタミン剤 B1, B6, B12 (400 μ g 以上)を含む multi-B complex、葉酸、1-2mg の葉酸塩、ビタミン E 400IU 毎日
マグネシウム栄養補助食品、250mg を 1 日 2 回
食事療法の検討 (例) 小さじ 2 杯のリンゴ酢、バナナ、オレンジなどのカリウム摂取の増加 注) 腎障害のある患者さんはカリウムの過剰摂取は禁忌です
アミノ酸栄養補助食品、(例) L-カルニチン[500mg を 1 日 2 回食品とともに服用し、2,000mg まで増量]、L-グルタミン[1 日 10g を 1 週間投与後、1g を 1 日 2 回]、アルファリポ酸[食品とともに 1 日 400~600mg を摂取]
痙攣には、炭酸水 (キニーネ水または Seltzer Water) を飲む
カプサイシンクリーム、またはココアバターなどの局所用クリームを塗布
【治療】 ガバペンチン (100mg を 1 日 3 回で投与を開始し、1 回 600mg を 1 日 3 回まで漸増し、1 日最高 2,700mg まで投与*) アミトリプチリン (就寝時に 25~50mg*) セルトラリン (就寝時に 50~100mg*) *末梢性神経障害に対する効能・効果および用法・用量は未承認